



「国際ガラス年 2022 に向けた国連総会の決議が進められています!」

国際ガラス委員会 (ICG)、ガラス協会のコミュニティ (CGA)、および ICOM-Glass は、2022 年の国連国際ガラス年を推進しています。国際ガラス年の目的は、ガラスの科学および経済的重要性を強調することです。ガラスは、目には見えなくても非常に多くの技術の中心にあり、グローバル化の様々な課題に直面している公正で持続可能な社会のファシリテータとなっています。

昨年 12 月 3 日 (木)、国際ガラス年に向けた公式プレゼンテーションが CSIC チャンネルを通して世界中でストリーミング配信されました。それはすぐに LinkedIn と Google を通じて拡がり、3500 もの直接ヒットを記録しました。新しい賛同書も私たちのもとに届いており、賛同書は 77 か国から 1250 通にも達しています。もし、賛同書の登録がまだであれば、どうぞホームページ www.iyog2022.org をご覧いただき登録をお願いいたします。

本年 2 月 (2021 年)、国連のスペイン政府代表団は、エジプト代議員の支援を受けて、決議を総会 (GA) に提出するプロセスを開始しました。彼らは、産業開発にかかる国連機関である UNIDO からの支援を受けており、UNIDO は現在決議の最終草案を編集しているところです。

今、私たちの提案は、すべての大陸のできるだけ多くの国の公的支援を必要としています。それによって、このプロセスを加速させ、3 月-4 月に予定される国連総会では、全会一致の投票が保証されることでしょう。このために、私たちはすべての国の主要な賛同者にむけて、各国の外務省や国連の政府代表に IYOG2022 の公式支援を求めるように頼んでいるところです。決議草案は、改訂のためにすべての代表団に送信されるため、それぞれの影響力のある領域内での支援を拡大することとなります。

一方、宣言の遅延により、私たちのデータベースを拡張する時間が得られました。30 分のプレゼンテーション動画を使用して、より多くの参加者を引き込み、より多くの支持を集めてください。HiRes バージョンは次の URL からダウンロードできます。

[https://www.youtube.com/watch?v=A6ZEaWvlz6k&feature=youtu.be&ab_channel=CSICC omunicaci%C3%B3n](https://www.youtube.com/watch?v=A6ZEaWvlz6k&feature=youtu.be&ab_channel=CSICC%20omunicaci%C3%B3n)。

この動画では、衡平で持続可能な世界における「ガラス」にスポットライトを当てています。

(日本語字幕版はこちら <https://youtu.be/rWNZawSJck0>)

今回の一時停止により、計画活動に集中する余裕も与えられました。現在のところ、2月にジュネーブで開催されるキックオフイベント、ベルリンで開催される ICG 会議、上海で開催される国際ガラス技術会議、そして世界美術史会議が予定されています。さらに、学術雑誌の記念号や博物館での展示会、公的および私的なガラスコレクション、そして普遍的な普及のための教材作成などが約束されています。ネットワークキングは不可欠になると思われます。現在、各国の代表者により国際ガラス年の運営委員会が結成されています。それにより、各国の機関との効果的な調整が可能となり、アイデアの共有を促進し、それらの影響を増大させることができるでしょう。

スペイン研究評議会 (CSIC) は、記念書籍の出版と少なくとも二つの展示会の開催に取り組んでいます。一つは IYOG の目的に関するもので、もう一つは、リサイクルとガラス容器による循環型経済の構築に関するものです。プレゼンテーション動画の英語版とスペイン語版は現在利用可能であり、これらは各国の母語への翻訳を計画する賛同国すべてに提供されます。

もう 1 つの重要なタスクは、ジュネーブでのオープニングセッションとその後の活動に資金を提供するための資金調達です。そのためのチームが、国連の承認が得られ次第アクションに移せるように準備しているところです。

私たちの共通の夢を実現するために、引き続き支援を集めていきましょう。私たちはますます成功に近づいています。



Alicia Durán
Research Professor CSIC
President of the ICG
Chair of IYOG2022
aduran@icv.csic.es (manager@iyog2022.org)